



# **NetApp Workload Factory リリースノート**

## Release notes

NetApp  
October 06, 2025

# 目次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| NetApp Workload Factory リリースノート | 1  |
| NetApp Workload Factoryの最近の変更点  | 2  |
| 2025年10月6日                      | 2  |
| NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX     | 2  |
| データベースワークロード                    | 2  |
| セットアップと管理                       | 3  |
| 2025年10月5日                      | 3  |
| NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX     | 3  |
| VMwareワークロード                    | 4  |
| 生成AIワークロード                      | 5  |
| セットアップと管理                       | 5  |
| ビルダーのワークロード                     | 6  |
| 2025年9月9日                       | 6  |
| NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX     | 6  |
| 2025年9月1日                       | 8  |
| データベースワークロード                    | 8  |
| 2025年8月12日                      | 9  |
| データベースワークロード                    | 9  |
| 2025年8月4日                       | 9  |
| データベースワークロード                    | 9  |
| 2025年8月3日                       | 10 |
| NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX     | 10 |
| VMwareワークロード                    | 12 |
| 生成AIワークロード                      | 12 |
| 法的通知                            | 13 |
| 著作権                             | 13 |
| 商標                              | 13 |
| 特許                              | 13 |
| プライバシーポリシー                      | 13 |
| オープンソース                         | 13 |

# **NetApp Workload Factory リリースノート**

# NetApp Workload Factoryの最近の変更点

NetApp Workload Factory の一部であるワークロードの最新の変更について説明します。

**2025年10月6日**

## NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX

**BlueXP workload factory**がNetAppワークロードファクトリーに

BlueXP は、データインフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。その結果、BlueXP workload factoryの名前がNetAppワークロードファクトリーに変更されました。

## データベースワークロード

**BlueXP workload factory**がNetAppワークロードファクトリーに

BlueXP は、データインフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。その結果、BlueXP workload factoryの名前がNetAppワークロードファクトリーに変更されました。

## Workload Factory コンソールの Oracle 向けの機能強化

### Oracleデータベースリソース画面

各 Oracle データベースには、データベースインベントリから利用できる専用のリソース画面があります。リソース画面には、データベース名、ステータス(オンまたはオフライン)、テナンシー、およびデプロイメントタイプの概要が表示されます。また、3か月間の CPU 使用率、レイテンシ、IOPS、スループットのデータを示すグラフも含まれています。容量使用率は、データベースの合計サイズ、書き込まれたデータサイズ、使用されたソリッドステートドライブの容量、および使用された容量プールストレージを提供します。

リソース画面では、Oracle サーバー(デプロイメントモデル、OS、エディション、バージョンなど)、場所(AWS アカウント、リージョン、アベイラビリティーゾーン、サブネット)、ストレージとコンピューティング(FSx for ONTAPファイルシステムの詳細、データベースインスタンスタイプ、関連する LUN とボリューム)、接続(VPC とアクセスプロトコル)に関する情報を表示できます。また、データベース構成の well-architected ステータスを確認したり、データベースに関連付けられているプラガブルデータベース(PDB)を表示したりすることもできます。

### Oracle プラガブルデータベースのサポート

Oracle プラガブルデータベースは、データベースインベントリおよび親コンテナデータベースのリソース画面から表示できます。PDB に関する次の情報が利用可能です: CDB 名、ホスト名、保護ステータス、データベースサイズ、FSx for ONTAPファイルシステム、AWS 認証情報、AWS アカウント、リージョン。

### Oracle 向けの Well-Architected 分析

Well-Architected 分析には、Automatic Storage Management(ASM)の有無にかかわらず、NFS 経由または iSCSI 経由の Oracle データベースのストレージレイアウトの構成問題の評価と、iSCSI LUN 経由の Oracle

のオペレーティング システム上のストレージ構成問題の評価が含まれます。この情報を使用することで、データベースの導入について十分な情報に基づいた意思決定を行い、効率的に実行されていることを確認できます。

#### "Workload Factory で Well-Architected データベース構成を実装する"

##### データベースインベントリの強化

データベース インベントリのインスタンス画面では、Microsoft SQL Server の単一または複数のインスタンス、あるいは Oracle の単一または複数のデータベースに対して、構成の問題を修正、延期、および破棄するオプションが利用できます。

#### Amazon Elastic Block Store (EBS) のストレージ計算ツールで節約を最適化

Workload Factory は、EBS パフォーマンスの使用状況を分析し、最適かつ最もコスト効率の高い FSx for ONTAP構成を提案します。これにより、FSx for ONTAPに切り替えることで、より多くのコストを節約できます。

#### "Workload Factory コンソールで検出されたストレージ環境の節約を調べる"

##### セットアップと管理

#### BlueXP workload factoryがNetAppワークロードファクトリーに

BlueXP は、データ インフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。その結果、BlueXP workload factoryの名前がNetAppワークロード ファクトリーに変更されました。

#### MCP との Ask Me 統合

Workload Factory の AI アシスタントである Ask Me は、Model Context Protocol (MCP) と統合されています。MCP を使用することで、Ask Me は外部環境と安全にインターフェイスし、API ツールにクエリを実行して、特定のストレージ環境に合わせた応答を提供します。

## 2025年10月5日

#### NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX

#### Amazon Elastic Block Store (EBS) のストレージ計算ツールで節約を最適化

Workload Factory は、EBS パフォーマンスの使用状況を分析し、最適かつ最もコスト効率の高い FSx for ONTAP構成を提案します。これにより、FSx for ONTAPに切り替えることで、より多くのコストを節約できます。

#### "Workload Factory コンソールで検出されたストレージ環境の節約を調べる"

##### ファイルシステムインベントリからリソース画面に素早くアクセス

FSx for ONTAPインベントリからハイパーリンクになったファイルシステム名を選択すると、FSx for ONTAP ファイルシステムリソース画面にすばやく移動できます。

## **Workload Factory** コンソールでキャッシュ関係を検出する

FSx for ONTAPファイルシステムと別のタイプのONTAPストレージ(オンプレミスシステム、Cloud Volumes ONTAP、FSx for ONTAP)との間にキャッシュ関係がある場合は、Workload Factory コンソールからそれらを検出して表示できます。これにより、データフローをより深く理解し、キャッシュの使用率を最適化し、分散環境全体の効率を向上させることができます。

["Workload Factory コンソールでキャッシュ関係を検出して表示する"](#)

## **Well-Architected** 分析のアップデート

ワークロードファクトリーは、次の構成について FSx for ONTAPファイルシステムを分析するようになりました。

ボリュームファイル容量使用率しきい値: ファイル容量しきい値が 80% 以下に設定されているかどうかを確認します。これにより、ファイルシステムのスペース不足を回避できます。

["FSx for ONTAPファイルシステムの Well-Architected ステータスを表示します"](#)

構成の問題に対するアクションの改善

FSx for ONTAPファイルシステムのダッシュボードの **Well-architected analysis** タブでは、ファイルシステムの構成全体を無視する代わりに、ファイルシステム内の 1 つ以上のボリュームを選択して修正、無視、または再アクティブ化することもできます。

ストレージに関する追加通知

NetApp Workload Factory 通知サービスには、Well-Architected 構成の問題に関する通知が毎週含まれています。

["Workload Factory のセットアップと管理ドキュメントの通知タイプとメッセージ"](#)

不变ファイルは特権削除をサポートします

この機能を使用すると、FSx for ONTAPファイルシステム内の不变ファイルに対する特権削除アクセスを設定できます。これにより、重要なデータを偶発的または悪意のある削除から保護しながら、許可されたユーザーがロックを無効にして必要に応じてこれらのファイルを削除できるようになります。特権削除の有効化は、ボリュームの作成時または既存のボリュームに対して行うことができます。

## **VMware** ワークロード

**BlueXP workload factory**がNetAppワーカロードファクトリーに

BlueXP は、データインフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。その結果、BlueXP workload factoryの名前がNetAppワーカロードファクトリーに変更されました。

**VMware** ワークロード プランニング センターのご紹介

VMware ワークロード プランニング センターを使用すると、VM インベントリと移行プランを 1 か所で表示および管理できます。異なる環境から複数の VM インベントリをアップロードして保存し、それらのいずれかについて AWS EC2 または Amazon Elastic VMware サービスへの移行の計画を開始できます。AWS EC2 ま

たは EVS 移行プランを作成して保存することもできます。

#### ["VMware ワークロード プランニング センターの詳細"](#)

#### **Amazon Elastic VMWare Service の移行アドバイザー サポートの導入**

BlueXP Workload Factory for VMware では、Amazon Elastic VMware Service 移行アドバイザーを使用して、オンプレミスの VMware ワークロードを Amazon Elastic VMware Service に迅速に移行できるようになりました。移行アドバイザーを使用して移行計画を作成すると、計画センターの移行計画のリストに自動的に保存されます。

#### ["移行アドバイザーを使用して Amazon EVS のデプロイメント計画を作成する"](#)

#### **生成AIワークロード**

#### **BlueXP workload factoryがNetAppワークロードファクトリーに**

BlueXP は、データインフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。その結果、BlueXP workload factoryの名前がNetAppワークロード ファクトリーに変更されました。

#### **Amazon Q Business のNetAppコネクタに汎用 NFS/SMB データソースを追加するためのサポート**

Workload Factory API を使用すると、汎用 NFSv3、NFSv4、または SMB 共有から Amazon Q Business のNetAppコネクタにデータソースを追加できるようになりました。これにより、Amazon FSx for NetApp ONTAP以外のファイルシステムでホストされているボリュームに保存されているファイルを含めることができます。

#### ["Amazon Q Business 用のNetAppコネクタを作成する"](#)

#### ["コネクタにデータソースを追加する"](#)

#### **ナレッジベースの高度なチャット設定**

応答の長さ、温度、推論設定など、ナレッジベースのチャット モデルに適用可能な高度なチャット設定を構成できるようになりました。これらの設定の一部(最新性や変更時間の設定、高度な取得設定、システムプロンプトなど)は、Workload Factory API を使用する場合にのみ利用できます。

#### ["生成AIナレッジベースの作成"](#)

#### **埋め込み、チャット、再ランキングモデルで推論タイプの選択がサポートされるようになりました**

選択した埋め込み、チャット、または再ランク付けモデルに推論設定がある場合は、推論タイプを選択できるようになりました。これにより、チャットボットのパフォーマンスとリソース要件をニーズに合わせてより適切に調整できるようになります。

#### ["生成AIナレッジベースの作成"](#)

#### **セットアップと管理**

## ストレージの新しい通知

NetApp Workload Factory 通知サービスには、ストレージの Well-Architected の問題に関する通知が含まれています。

### "NetApp Workload Factory の通知"

## ビルダーのワークフロー

### BlueXP workload factoryがNetAppワークフロードファクトリーに

BlueXP は、データインフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。その結果、BlueXP workload factoryの名前がNetAppワークフロードファクトリーに変更されました。

## 2025年9月9日

### NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX

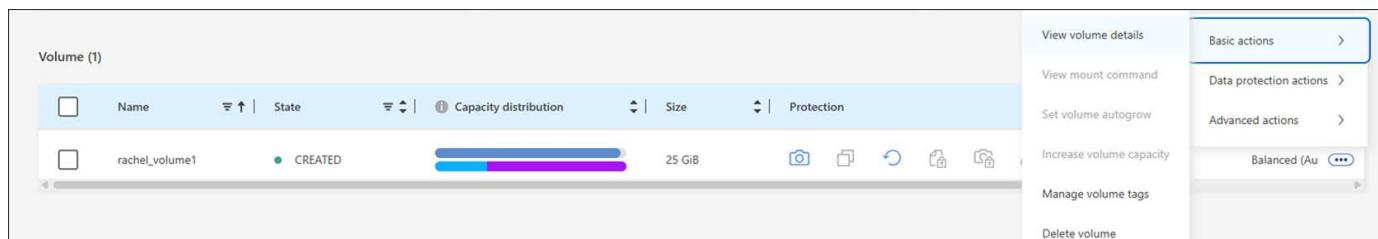
#### ストレージインベントリレポートの機能強化

ワークフロードファクトリーでは、FSx for ONTAPファイルシステムについて報告されるデータが強化されました。FSx for ONTAPインベントリページからダウンロード可能なレポートには、次の新しい列が含まれています。

- ・ 使用済みSSD: 使用済みSSD容量の値を表示します
- ・ SSD使用率: 使用中のSSD容量の割合を表示します
- ・ スループット使用率: 過去30日間の平均使用率とピーク使用率を表示します。
- ・ IO使用率: 過去30日間の平均およびピークIO使用率を表示します。
- ・ CPU使用率: 過去30日間の平均およびピークCPU使用率を表示します。

#### スナップショット管理の機能強化

ワークフロードファクトリーでは、ボリュームスナップショットの詳細を表示し、ボリュームスナップショットを管理するための機能がいくつか強化されました。これらの機能強化により、スナップショットのステータスを理解し、データを保護しやすくなります。



保護タブのボリューム詳細に追加項目が表示されます。

- ・ Snapshotポリシー名

- ・スナップショットスペースの予約
- ・スナップショットスペース予約容量

| Volume details                      |                                |             |        |            |
|-------------------------------------|--------------------------------|-------------|--------|------------|
| General details                     | Distribution                   | Consumption | Access | Protection |
| Snapshot policy name                | default                        |             |        |            |
| Local snapshots                     | Unprotected                    |             |        |            |
| Snapshot space reservation          | 20%                            |             |        |            |
| Snapshot space reservation capacity | 10 GiB used   120 GiB reserved |             |        |            |
| Remote replication                  | Unprotected                    |             |        |            |
| FSx for ONTAP backup                | Protected                      |             |        |            |
| Immutable files                     | Unprotected                    |             |        |            |

新しいスナップショット管理画面はボリュームからアクセスでき、ボリュームのスナップショットポリシーに関する情報が提供され、すべてのボリュームスナップショットを含むテーブルが含まれます。テーブルには、作成時刻、サイズ、有効期限、不变のスナップショット保護、ラベルなどのスナップショットの詳細が表示されます。管理画面から、ボリュームのスナップショットポリシーを変更したり、スナップショットを手動で作成したり、スナップショットを編集、アクセス、復元、削除したりできます。

| Manage snapshots     |                       |             |                        |                    |                        |                            |
|----------------------|-----------------------|-------------|------------------------|--------------------|------------------------|----------------------------|
| default              |                       | Description | Enabled                | Disabled           | Manage snapshot policy |                            |
| <b>Snapshots (6)</b> |                       |             |                        |                    |                        |                            |
| Name                 | Creation time         | Size        | Expiry time            | Immutable snapshot | Label                  | More                       |
| snapshotName1        | May 26, 2025, 9:13 AM | 35.2 GiB    | May 26, 2032, 15:13 PM | Protected          | Label name             | <a href="#">Edit</a>       |
| snapshotName2        | May 26, 2025, 9:13 AM | 35.2 GiB    | n/a                    | Unprotected        | Label name             | <a href="#">Access</a>     |
| snapshotName3        | May 26, 2025, 9:13 AM | 35.2 GiB    | May 26, 2032, 15:13 PM | Protected          | Label name             | <a href="#">Restore</a>    |
| snapshotName4        | May 26, 2025, 9:13 AM | 35.2 GiB    | n/a                    | Protected          | Label name             | <a href="#">Delete</a>     |
| snapshotName5        | May 26, 2025, 9:13 AM | 35.2 GiB    | May 26, 2032, 15:13 PM | Unprotected        | Label name             | <a href="#">Label name</a> |
| snapshotName6        | May 26, 2025, 9:13 AM | 35.2 GiB    | May 26, 2032, 15:13 PM | Protected          | Label name             | <a href="#">...</a>        |

## SSDストレージ容量の減少が可能

ワークロード ファクトリーは、第2世代ファイルシステムのソリッド ステート ドライブ (SSD) 容量の削減をサポートしています。柔軟なファイルシステム容量により、ワークロードのニーズに合わせてファイルシステムの容量を動的に調整できます。

["ファイルシステムの容量を調整する"](#)

# 2025年9月1日

## データベースワークロード

### Agentic AI搭載エラーログアナライザー

Agentic AI 搭載エラー ログ アナライザーは、高度な機械学習アルゴリズムを活用して、ログ ファイル内のエラーを自動的に検出して分析する新しい機能です。このツールは、ログで識別されたパターンに基づいて開発者に実用的な洞察と推奨事項を提供することで、トラブルシューティング プロセスを合理化することを目的としています。

["Agentic AI搭載エラーログアナライザーの詳細"](#)

### Oracleサポート

ワークロード フاكتリーには、Oracle データベースのサポートが含まれています。ワークロード フاكتリー コンソールでは、インベントリから Oracle データベースを表示したり、ワークロード フاكتリーの高度な機能を使用するためにデータベースを登録したり、well-architected 機能を使用して Oracle データベースを分析し、ベスト プラクティスに準拠しているかどうかを判断したりできます。Well-Architected 分析により、Oracle データベースのストレージ構成が最適化されているかどうかが判断されます。この情報を使用することで、データベースの導入について十分な情報に基づいた意思決定を行い、効率的に実行されていることを確認できます。

["ワークロードファクトリーで適切に設計されたデータベース構成を実装する"](#)

### 第 2 世代 FSx for ONTAPファイルシステムでの Microsoft SQL Server デプロイメントのサポート

ワークロード フاكتリーは、第 2 世代の FSx for ONTAPファイル システムでの Microsoft SQL Server のデプロイメントをサポートします。この機能強化により、SQL Server ワークロードを管理しながら、第 2 世代のファイル システムで利用可能な最新の機能とパフォーマンスの向上を活用できるようになります。

### SQL Server 保護のための Windows 認証

Windows 資格情報を使用した Microsoft SQL Server インスタンスの認証は、BlueXP backup and recoveryによる保護のために Microsoft SQL Server ホストを準備するためのワークフローに組み込まれています。これは以前は手動で完了するための前提条件の手順でした。代わりに、Windows 資格情報を使用してワークロード フاكتリーにホストを登録していない場合は、管理者アクセス権を持つ Windows 資格情報を共有するよう求められます。

["ワークロードファクトリーコンソールを使用して Microsoft SQL Server ワークロードを保護する方法を学びます"。](#)

### Well-Architected 分析には SQL Server の MTU 調整が含まれます

Well-Architected 分析では、FSx for ONTAPストレージ上の Microsoft SQL Server のエンドポイント間の最大転送単位 (MTU) の不整合を評価し、修正します。MTU 設定を調整すると、ネットワーク パフォーマンスが最適化され、SQL Server ワークロードの待機時間が短縮されます。

["ワークロードファクトリーで適切に設計されたデータベース構成を実装する"](#)

## 2025年8月12日

### データベースワークロード

BlueXP backup and recoveryが Microsoft SQL Server のワークロードをサポートするようになりました

BlueXP backup and recoveryを使用すると、Microsoft SQL Server データベースおよび可用性グループのバックアップ、復元、検証、および複製が可能になります。ワークロード ファクトリー コンソールから、BlueXP backup and recoveryにアクセスして使用し、Microsoft SQL Server ワークロードを保護できます。

"[ワークロードファクトリーコンソールを使用して Microsoft SQL Server ワークロードを保護する方法を学びます](#)"。

BlueXP backup and recoveryの詳細については、"[BlueXP backup and recoveryによる Microsoft SQL ワークロードの保護の概要](#)"。

## 2025年8月4日

### データベースワークロード

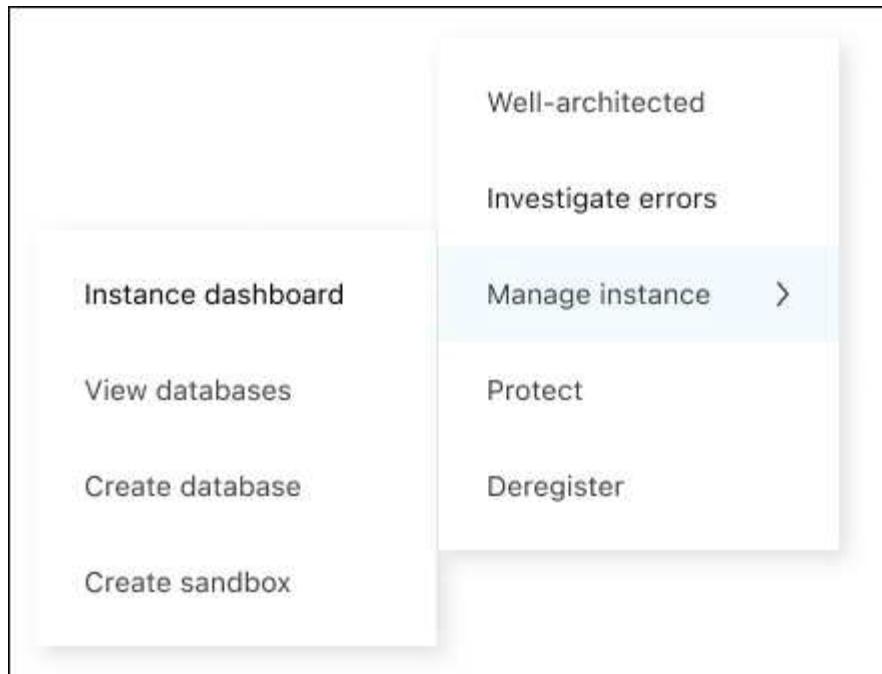
Well-Architected分析には高可用性クラスタの検証が含まれる

Well-Architected 分析に、高可用性クラスターの検証が含まれるようになりました。この検証では、両方のノードのディスクの可用性と構成、Windows クラスターの構成、フェールオーバーの準備状況など、サーバー側からのすべてのクラスター関連の構成がチェックされます。これにより、Windows クラスターが適切にセットアップされ、必要に応じて正常にフェールオーバーできるようになります。

"[ワークロードファクトリーで適切に設計されたデータベース構成を実装する](#)"

### インスタンスに利用可能なマルチレベルメニュー

ワークロード ファクトリー コンソールに、インスタンスのマルチレベル メニューが追加されました。この変更により、インスタンスを管理するための、より整理された直感的なナビゲーション構造が提供されます。インスタンス管理のメニュー オプションには、インスタンス ダッシュボードの表示、データベースの表示、データベースの作成、サンドボックス クローンの作成などがあります。



## 節約を模索するための新しい認証オプション

いつ NT Authority\SYSTEM ユーザーが Microsoft SQL Server に対して十分な権限を持っていない場合は、SQL Server の資格情報で認証するか、不足している SQL Server の権限を追加することができます。  
`NT Authority\SYSTEM。

["Amazon FSx for NetApp ONTAPでデータベース環境の潜在的なコスト削減を模索"](#)

## 2025年8月3日

### NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX

#### レプリケーション関係タブの機能強化

レプリケーション関係テーブルにいくつかの新しい列が追加され、\*レプリケーション関係\*タブでレプリケーション関係に関する詳細情報が表示されるようになりました。テーブルには次の列が含まれるようになりました。

- SnapMirrorポリシー
- ソースファイルシステム
- ターゲットファイルシステム
- 関係の状態
- 最終転送時間

### NetApp のAIによる自律型ランサムウェア保護 (ARP/AI) の機能強化

このリリースでは、ランサムウェア保護機能への人工知能の統合をより適切に反映するために、「NetApp Autonomous Ransomware Protection with AI (ARP/AI)」という更新された用語が導入されています。

さらに、ARP/AI には次の機能強化が加えされました。

- ・ボリューム レベルの ARP/AI: ボリューム レベルで ARP/AI を有効にできるようになり、FSx for ONTAP ファイル システム内の特定のボリュームを保護できるようになりました。
- ・自動スナップショット作成: ARP/AI ポリシーを設定して自動スナップショットを作成し、ARP/AI が有効になっているボリュームのスナップショットを作成する頻度を定義して、データ保護戦略を強化できます。
- ・不变スナップショット: ARP/AI は、削除または変更できない不变スナップショットをサポートするようになりました。ランサムウェア攻撃に対するセキュリティがさらに強化されました。
- ・検出: ボリューム レベルでの高エントロピー データ レート、ファイル作成レート、ファイルの名前変更レート、ファイル削除レート、動作分析、およびこれまでに見たことのないファイル拡張子など、さまざまな検出方法が含まれており、異常や潜在的なランサムウェア攻撃の検出に役立ちます。

"NetApp Autonomous Ransomware Protection with AI (ARP/AI) でデータを保護します"

### Well-Architected 分析の更新

ワークロード ファクトリーでは、次の構成について FSx for ONTAP ファイル システムを分析するようになりました。

- ・長期保存データの信頼性: ソース ボリュームのスナップショット ポリシーに割り当てられたラベルが、長期保存ポリシーに割り当てられたラベルと同一であるかどうかを確認します。ラベルが同一である場合、ソース ボリュームとターゲット ボリューム間のデータ レプリケーションは信頼できます。
- ・NetApp Autonomous Ransomware Protection with AI (ARP/AI): ファイル システムで ARP/AI が有効になっているかどうかを確認します。この機能は、ランサムウェア攻撃を検出して回復するのに役立ちます。

"FSx for ONTAP ファイル システムの Well-Architected ステータスを表示します"

### Well-Architected 分析から構成を除外する

これで、well-architected 分析から 1 つ以上の構成を除外できるようになりました。これにより、現時点で対処したくない特定の構成を無視できます。

"Well-Architected 分析から構成を除外する"

### リンク作成のための Terraform サポート

Codebox から Terraform を使用して、FSx for ONTAP ファイル システムとの関連付けのためのリンクを作成できるようになりました。この機能は、リンクを手動で作成するユーザー向けです。

"Lambda リンクで FSx for ONTAP ファイル システムに接続"

### ストレージの節約を探索するための新しいリージョンのサポート

Amazon Elastic Block Store (EBS)、FSx for Windows File Server、Elastic File Systems (EFS) の節約を検討するため、次の新しいリージョンがサポートされるようになりました。

- ・メキシコ
- ・タイ

## SMB/CIFS共有の作成と管理の機能強化

ボリューム内のディレクトリを指す SMB/CIFS 共有を作成できるようになりました。ボリューム内で、どの共有が存在するか、共有がどこを指しているか、特定のユーザーとグループに付与されている権限を確認できます。

データ保護ボリュームの場合、SMB/CIFS 共有を作成するフローに、マウント目的でボリュームへのジャンクションパスの作成が含まれるようになりました。

## "ボリュームのCIFS共有を作成する"

## VMwareワークロード

### Amazon Elastic VMWare Service の移行アドバイザーのサポートが強化されました

NetApp Workload Factory は、Amazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムの自動デプロイメントとマウントをサポートするようになりました。これにより、Amazon EVS 環境への移行が完了したら、FSx for ONTAPファイルシステムに VM のデプロイを開始できるようになります。

## "移行アドバイザーを使用して Amazon EVS のデプロイメント計画を作成する"

### Amazon Elastic VMware Service への移行によるコスト削減額を計算する

VMware ワークロードを Amazon Elastic VMware Service (EVS) に移行することで得られる潜在的なコスト削減を検討できるようになりました。節約計算ツールを使用すると、基盤ストレージとしてAmazon FSx for NetApp ONTAP を使用した場合と使用しない場合の Amazon EVS のコストを比較できます。計算機は、環境の特性を調整すると、潜在的な節約額をリアルタイムで表示します。

## "BlueXP Workload Factory で Amazon Elastic VMware Service の割引価格をご確認ください"

## 生成AIワークロード

### 構造化データ結果の安全な保存

チャットボットのクエリ結果に構造化データが含まれている場合、GenAI はその結果を Amazon S3 バケットに保存できます。これらの結果が S3 バケットに保存されると、チャットセッション内のダウンロードリンクを使用してダウンロードできます。

## "生成AIナレッジベースの作成"

### MCP サーバーの可用性

NetApp は現在、NetApp Workload Factory for GenAI に Model Context Protocol (MCP) サーバーを提供しています。サーバーをローカルにインストールすると、外部の MCP クライアントが GenAI ナレッジベースからクエリ結果を検出して取得できるようになります。

## "NetApp Workload Factory GenAI MCP サーバー"

# 法的通知

法的通知では、著作権に関する声明、商標、特許などにアクセスできます。

## 著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

## 商標

NetApp、NetAppのロゴ、およびNetAppの商標ページに記載されているマークは、NetApp、Inc.の商標です。その他の会社名および製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

## 特許

NetAppが所有する特許の最新リストは、次のサイトで参照できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

## プライバシーポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

## オープンソース

通知ファイルには、ネットアップソフトウェアで使用されるサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が記載されています。

["NetAppワークロード ファクトリー"](#)

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。